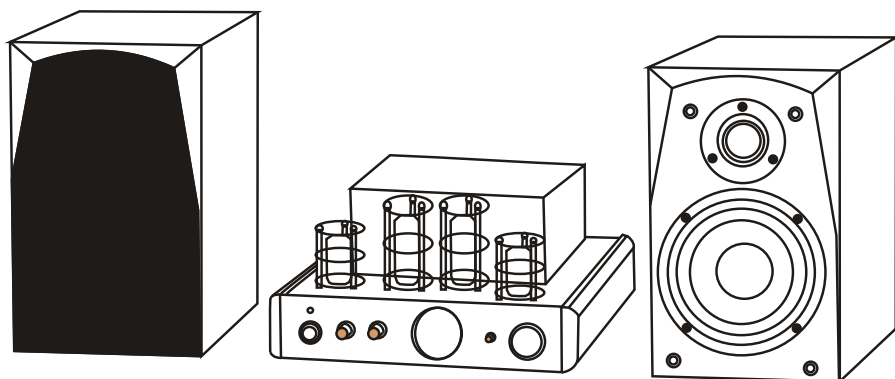


品番：AV-2030/SP-2030

真空管アンプ ステレオセット

Wien
～ウィーン～

取扱説明書



この度は当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
使用前にまず取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用下さい。
取扱説明書はいつでも見られるようにお手元に保管して下さい

本製品は日本国内においてのみ使用可能です。This product can be used only in Japan

MADE IN CHINA

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぎ、製品を安全にご使用いただくために、守っていただきたい事がらを示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う危険が想定される場合及び、物的損害の発生が想定される内容を示します。
	この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示します。
	この図記号は必ずしてほしい行為を示します。

警告



●異常が起きたら

本製品から異常な音、におい、煙などが発生したらただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。コンセントに近づけない、またはプラグが熱を帯びてさわれない場合はブレーカーを切ってください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
また、やけどにもじゅうぶん注意してください。

●改造しないでください

火災・感電の原因となり、大変危険です。

注意



●機器に水がかかったら

スピーカーに水などの液体がかかったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●機器に強い衝撃をあてたら

スピーカーを落としたり、何かをぶつけて破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したら

電源コードが傷んで破損したり、プラグが発熱したときは、すぐにブレーカーを切り、プラグが触れる程度に冷えたことを確認してから、コンセントを引き抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

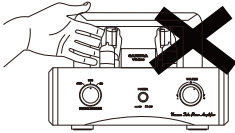
●動作がおかしい時は

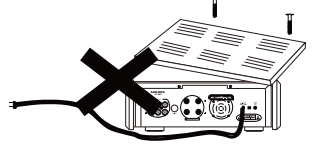
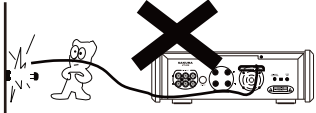
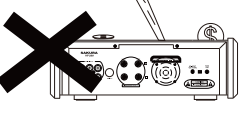
本説明書にしたがって正しく操作したにもかかわらず、本製品が正常に動作しない場合や性能に明らかな異常が認められる場合は、絶対にそのまま使用せずにお買い上げ店舗または専門業者までご相談ください。

●電源プラグを抜くときは

プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードを傷め、火災・感電の原因となる恐れがあります。必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。

安全上のご注意

⚠ 警告	
❗ ●電源は必ず AC100V を使用する それ以外の電源を使用すると、火災・感電の危険があります。	❗ ●不安定な場所に設置しない 転倒しケガの原因になります。また床や棚を傷つける場合がありますので、敷板などのご利用をお勧めします。
❗ ●動作中の真空管及び真空管保護カバーには絶対に触らない 動作中は、真空管及び真空管保護カバーが非常に熱くなります。ヤケドの危険がありますので、絶対に触らないでください。 	❗ ●電源コードを傷付けない 電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。
⚡ ●真空管と本体の隙間に先の尖ったものなどが入り込まないようにする 内部の高電圧部分は、非常に危険です。真空管と本体の隙間に先の尖ったものなどが入り込まないようにご注意ください。感電・火災の原因となります。	❗ ●タコ足配線をしない コードなどが加熱し、火災の原因となります。長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。プラグ部分にホコリが溜まり、火災の原因となります。
👉 ●本製品内に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用をやめる 火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。	❗ ●火災や感電の危険性を低減するために、機器を雨や湿気にさらさない
👉 ●落としたり、ぶつけたりしたときは、すぐに電源プラグを抜く 火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。	❗ ●水場の近くまたは湿度の高い場所で使用しない 機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。 
❗ ●電源コードが傷んだままで、使用しない 火災や感電の原因となります。	❗ ●真空管をハンマーで叩いたり、物などを乗せない ガラスが割れ、ケガをしたり、感電・発火する危険があります。
❗ ●電源プラグは、抜きやすい位置にあるコンセントに設置する 万一の事故や故障に備えて、手が届く場所に設置してください。	❗ ●通風孔をふさがない 布をかぶせたり、絨毯の上に置いたり、狭いスペースに押し込んだりしないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因となります。
❗ ●電源プラグは、根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全な場合、発熱による感電や火災の原因となります。	❗ ●底面を下にして設置する 通気を正しく行うために、底面を下にして設置します。
	❗ ●梱包袋で、遊ばない お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因となります。

⚠ 警告	
❗ ●機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない 引火して火災の原因となります。	❗ ●分解・改造をしない 内部は非常に高い電圧の部分があり、感電・火災の原因となります。 
❗ ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。	
❗ ●電源プラグを抜くときは、電源コード引っ張らない 電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。必ず、電源プラグを持って抜いてください。 	❗ ●小さな部品は、幼児の手の届かないところに置く 誤飲や窒息などの危険がありますので、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。
❗ ●雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れない 感電の原因となります。	❗ ●異物を差し込まない 故障や感電の原因となります。 

⚠ 注意	
❗ ●高温の場所に置かない 直射日光の当たる場所、熱源の側、自動車の中などに保管しないでください。火災や感電の原因となります。	❗ ●電源を入れる前に、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
❗ ●ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない 故障の原因となります。 	❗ ●長時間音が歪んだ状態で使用しない 発熱し、火災の原因となることがあります。
⚠ ●ゴムやビニール製品に本体を接触させない 外装が変質し跡が残ることがあります。	👉 ●長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く 電源を OFF にしても、微弱の電流が流れたりするので、長期間使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
❗ ●移動させる場合は、電源コードその他の接続線を外す コードに無理な力が加わって傷つき、火災や感電の原因となります。	👉 ●お手入れの際には、電源プラグを抜く 感電の原因となることがあります。
	❗ ●電源プラグやコンセント部の掃除をする ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的に電源プラグをコンセント部の掃除をしてください。

はじめに

【真空管アンプについて】

本製品は使用中、真空管は非常に高温になります。真空管保護カバーを取り付けた状態でも、付近はかなりの高温になりますので、絶対にお手を触れないようご注意ください。また真空管保護カバーを取り外す際には、必ず電源を切った状態で行い、電源を切ってから最低 30 分以上常温で冷やし、真空管が完全に冷えたことを確認してから慎重に行うようにしてください。

真空管アンプは、簡単な注意事項さえきちんと守って使用すれば、他の AV アンプと変わることなく、手軽に扱えます。



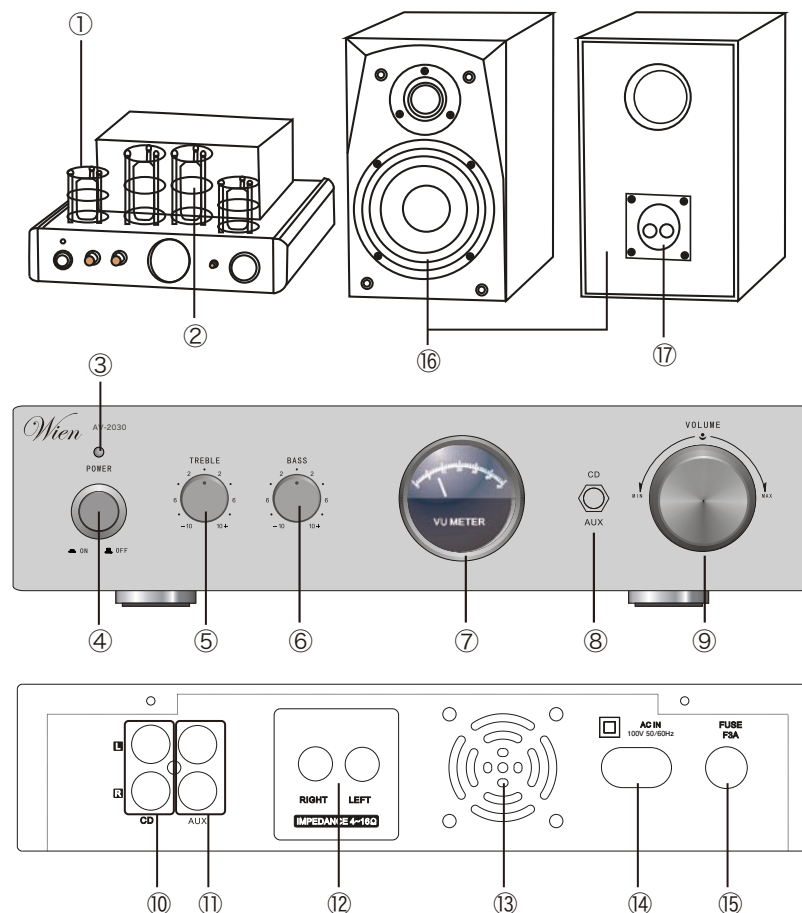
危険

真空管の交換は正しい知識・資格を持った専門家がおこなってください。アンプ内部は非常に高い電圧の部分があります。破裂・感電等の危険が伴います。交換による故障やケガ等は一切保証いたしません。

製品仕様

真空管アンプ		Hi-Fi パッシブスピーカー	
品番	AV-2030	品番	SP-2030
定格出力	15W+15W	定格入力	25W+25W
真空管	6P15×2、6N2×2	インピーダンス	4Ω
周波数特性	20Hz~20kHz±5dB	ドライバーユニット	5.25" ×1+1" ×1
SN 比	≥80dB	周波数特性	40Hz~20kHz
全高調波歪率	0.5% (4Ω、1kHz)	出力音圧	88dB
入力	RCA×2	外形寸法	270×170×195mm
入力感度/インピーダンス	300mV/47kΩ	質量	2.5kg (1 個)
スピーカー出力	1 系統	接続端子	プッシュターミナル
電源	100V 50-60Hz	材質	MDF、ABS 樹脂
消費電力	75W		
外形寸法	270×265×140mm		
質量	7.5kg		
材質	MDF、ABS 樹脂、スチール		
付属品	スピーカーコード、オーディオ用接続ケーブル		

各部名称



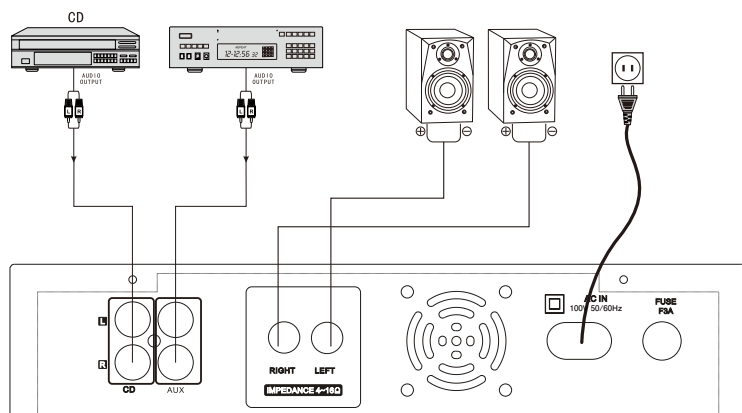
- ①真空管保護カバー
- ②真空管
- ③表示ランプ
- ④電源スイッチ
- ⑤高音調整
- ⑥低音調整

- ⑦VU メーター
- ⑧入力切替スイッチ
- ⑨ボリューム
- ⑩CD 入力
- ⑪AUX 入力
- ⑫スピーカー出力

- ⑬通風孔
- ⑭電源ソケット
- ⑮ヒューズ 3A
- ⑯スピーカー
- ⑰プッシュターミナル

接続する

- 1 スピーカーをスピーカー出力端子に接続します。
※スピーカーのプッシュターミナルにスピーカーコードを接続する場合、先端を良く束ね、確実にプッシュターミナルにとめてください。
※スピーカーコードの赤い線と黒い線を間違えないように正しく接続してください。
- 2 CD などご使用のオーディオを入力端子に接続します。
- 3 AC プラグをコンセント（100V、50/60Hz）に差し込みます。



電源を入れる

- 1 音量を小にしておきます。
- 2 接続に間違いがないことを確認した後、電源スイッチを ON にします。
- 3 表示ランプが「青色」に点灯し、真空管が「オレンジ色」にほのかに灯ります。



真空管を傷めないために、電源スイッチを入れてから、真空管が温まるまで 1 分待ってください。

スピーカーのお手入れ

- 汚れやホコリは、柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときには、中性洗剤を薄めた水に柔らかい布を浸し、強く絞って拭きとってから、柔らかい布でから拭きしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの薬品は表面をいためますので、ご使用にならないでください。

よくあるお問い合わせ

Q1 真空管の寿命はどれくらいですか？

使用環境にもよりますが、一般にはおよそ、5000 時間程度と言われています。通常、ご家庭で使用するような場合では、電球のように 1, 2 年で切れてしまうようなことはありません。電源のオンオフを頻繁に行うなど、無理な使用方法をしない限り、永くご使用できます。

Q2 真空管のメンテナンス方法は？

時々柔らかい布などで、ホコリを払っていただく程度で構いません。ホコリがソケットの回りなどに溜まると、火災などの原因になりますので、注意が必要です。また、掃除をする際には、本製品の電源を切ってから、最低 30 分以上は常温で冷まし、十分に真空管が冷めたことを確認してから作業を行ってください。

Q3 ノイズ音がする

- ・スピーカーケーブルと電源コードが交差していないか確認してください。
- ・蛍光灯やホットカーペット等から離して使用してください。
- ・ケーブルが劣化している恐れがあります。ケーブルを交換してください。
- ・真空管のウォームアップが不十分な場合ノイズ音になることがあります。
- ・真空管の寿命の場合があります。

Q4 音がでない

修理を依頼される前にチェックしてみてください。

- ・電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
- ・ピンジャック及びスピーカーコードの接続を確認してください。
- ・入力切り替えスイッチが正しくセットされているか確認してください。

真空管交換方法

安全に作業するために、下記注意事項を良く読んでから行って下さい。

- 作業を行う際は、安定した台の上で行って下さい。
- 作業時は軍手など手袋を着用し、目の保護を行ってください。
- 濡れた手で作業を行わないで下さい。
- 本体が濡れている時は作業を行わないで下さい。
- 火が付くような物、濡れている物や液体の傍などで作業を行わないで下さい。
- 作業中に違和感（固い場合や引っ掛かり）を感じた場合は直ちに作業を中止し、専門家へご相談下さい。
- お客様による誤った組立て、または誤使用による破損、損壊に関しては保証できませんのでご注意ください。
- 子供には触らせないで下さい。
- 外した部品等、子供の誤飲には十分に注意し、部品管理を徹底してください。
- 電源コードを再接続する際は、電源スイッチがOFFになっている事を確認して下さい。
- 強い臭気を感じた場合は直ちに作業を中止し、専門家へご相談下さい。

1 電源コードを抜きます。

必ず電源コードを抜き、真空管が冷えるまで十分に時間を置いてから作業を始めて下さい。

絶対に電源コードを繋いだまま作業を行わないで下さい。

※感電等の怪我や、重大な事故に繋がる可能性があります。

※本体を破損する可能性があります。

2 真空管を抜きます。

真空管保護カバーを片方の手で押さえながら、もう片方の手で真空管をゆっくりと少しだけ揺すりながらまっすぐに引き抜いて下さい。

※真空管が十分に冷えてから作業を行って下さい。火傷や怪我等の恐れがありますので手袋や軍手等を着用し十分に注意して下さい。

※絶対に勢いをつけて行わないで下さい。真空管が割れたり、ぶついたりし怪我をする恐れがあります。

※大きく揺すり過ぎると破損の可能性があるので注意して下さい。

3 新しい真空管を差し込みます。

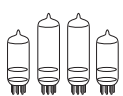
新しい真空管のピンとソケットの孔位置を確認しながら、ゆっくりとまっすぐ入れます。固かったり抵抗がある場合は無理に入れず、一度作業を中断して、真空管のピンやソケット内の口金が曲がったりしていないか確認してからもう一度やり直してください。

根元までしっかりと真空管を差し込んで下さい。

真空管は非常にデリケートですので、振動や衝撃により内部にある微細な部位やパーツが破損する事がありますので、取扱には十分に注意して下さいまた、真空管を素手で触ると、火傷等の事故や怪我に繋がる事や、真空管の表面についた手の脂や汚れによって真空管表面が焼けたりする場合があります。

【真空管の購入について】

真空管のご購入は、右記の E-mail またはお電話にてお申し込みください。
右記、記載事項は必ず明記の上、ご連絡頂きますようお願いいたします。

	品番：AV-2030-TB			
	6P15	大	1 本	1,800 円
	6N2	小	1 本	1,500 円
	6P15×2 本、6N2×2 本	—	4 本セット	4,800 円

上記の料金は、送料・代引き手数料・消費税込みの料金となります。
予めご了承ください。

===== メールの記載事項 =====

- お名前
- ご住所（郵便番号）
- 電話番号
- 必要な付属品名と数量

SIS 株式会社 お客様サポートセンター
【E-mail】
info@souguiryouki.com
【TEL】 0836-37-6662